

1. 基礎分野の教育内容 科学的思考の基盤 人間と生活、社会の理解 11単位285時間

科目名(教育内容) 単位・時間数	科目目標	学習内容
生物学 1単位・30時間	<ol style="list-style-type: none"> すべての生物の生命に共通する仕組みを学ぶ。 生物と人間の生命との関連性、生活形態、自然界の秩序、環境との相互関係を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 細胞・組織・器官の構造と機能障害 事例の概説 植物生理 光合成と呼吸 ミトコンドリア 動物生理 神経細胞と酸素 ブドウ糖 尿酸と血管内皮 動物行動 前頭葉 理性 瞬時総合的統合調整 発生 発ガン がん細胞の分裂 遺伝 DNAの変異 形質と出現率 進化 ウイルスの変異 部位結合性・侵襲の差異 生態 利便生活とエコ フィトンチッドとシックハウス 細胞と薬剤 化学物質の細胞宅配の仕組み P450 酒類 生化学 酵素活性と至適温度 アインザイム 律速因子 科学的不変性と疾患 石綿と中皮腫 テトラクロロエチレン 感染 院内感染事例 チェック方法の開発 食中毒 高精度迅速検査 原因特定の機関連携 恒常性 自律回帰と逸脱 検査値の評価 個人差 加齢現象
計学 1単位・30時間	<ol style="list-style-type: none"> 統計学の基本的な考え方を理解する。 基本統計量を用いてデータを解釈する。 看護研究における統計分析の基礎を身につける。 	<ol style="list-style-type: none"> 医療統計の歴史 母集団と標本 1変量データの代表値と散らばり 2変量データの相関と回帰分析 統計図表の読み取り 確率の基礎 確率分布と期待値・分散 統計的検定
情報リテラシー 1単位・15時間	<ol style="list-style-type: none"> 情報活用の実践力をつける。 情報の科学的な理解ができる。 情報社会に参画する態度が養える。 	<ol style="list-style-type: none"> 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用 情報通信ネットワークの構成 情報の暗号化など安全に情報を利用する方法 知的財産、個人情報の保護と活用など社会の情報化に関連する法律や制度
論理学 1単位・30時間	<ol style="list-style-type: none"> 論理的なものの見方、考え方を学ぶ。 自分の考えをまとめたり、表現したりする力を身につける。 問題意識を持って主体的、創造的に学習し、問題を解決する能力を養う。 	<ol style="list-style-type: none"> 人間の思考 2. 論理的思考 演繹的理論・帰納的推論の方法 論理的思考と自己表現 <ol style="list-style-type: none"> 筋道を立てた表現の方法 論理的に話すための用語
心理学 1単位・30時間	<ol style="list-style-type: none"> 人間の心理と、行動の特徴 人間の心理を理解するために必要な発達心理・生理心理・認知心理・適応心理・学習心理を学ぶ 	<ol style="list-style-type: none"> 心理学とは 心理学は何をめざしているのか 発達心理 発達とは 発達の特徴 遺伝と環境 適応心理 欲求 葛藤 適応機制 ストレスコーピング コミュニケーション コミュニケーションの種類 性格心理 性格の見方・測定法(性格検査) 学習心理 学習過程のプロセス
文学 1単位・15時間	<ol style="list-style-type: none"> 個々の作品をとおして読解力を深め、表現力、伝達力を身につける。 文学のおもしろさに気づく。 様々な感情の発露、人間の生き方を考える 	<ol style="list-style-type: none"> 文学鑑賞 (夏目漱石、谷崎潤一郎、坂口安吾、志賀直哉、芭蕉等) 文学作品の朗読・黙読 読後の感想・考察

<p>文化人類学 1単位・30時間</p>	<p>1. 他民族の人類学的特徴、生活様式、風俗習慣、宗教的儀礼、政治形態、教育制度などを知ることにより、他の人他の考え方を理解する。 2. 看護を含む医療のあり方について広い視野をもつ。</p>	<p>1. 文化人類学の概要 2. 男の役割、女の役割 3. 婚姻の多様性 インセスタブー 婚姻の意味 4. 性の多様性 5. 家族の多様性 6. 女性の働き方の多様性 7. 家事分担の多様性 8. 文化と生殖補助医療 9. 通過儀礼、儀礼の構造 10. 日常生活のなかの宗教 11. 文化と病氣観 12. 人は死をどのようなものと考えてきたか 13. 人と死と死の儀礼</p>
<p>教育学 1単位・30時間</p>	<p>1. 教育の果たす機能と教育の現状を学習主題とし、人間形成における教育の機能を理解する。 2. 看護活動における教育機能を効果的に果たせる能力を養う。</p>	<p>1. 教育学の基礎 2. 学校教育 3. 生涯教育 4. 家庭教育 5. 学校・家庭・地域の連携 6. 看護教育に求められる学び 7. 将来に備えて</p>
<p>人間関係論 1単位・30時間</p>	<p>1. 人間関係で生じる心の動きと行動を理解する。 2. 人間関係を上手に保つための知識とスキルを学ぶ。 3. 人間理解、対人関係の持ち方、人間関係を創りあげる能力を養う。</p>	<p>1. 人間関係の基礎知識 1) 人間関係論の基本的な視点 2) 自分と他者の関係性 3) 人間関係の生涯発達 2. 自分と他者のコミュニケーション 3. 人間関係の諸相 1) 家族関係 2) 夫婦関係 3) 親子関係 4) 教師・学生関係 5) 職場の人間関係 4. 対人援助における人間関係 5. 相談、カウンセリング</p>
<p>英語 I 1単位・30時間</p>	<p>1. 医療現場で出会う英単語(日常的用語から専門用語まで)を広く学ぶ。 2. 看護学領域の英文を読み、英語への理解及び看護への理解を深める。 3. 医療現場での英会話においてよく用いられる表現について学ぶ。</p>	<p>1. 医療の場で用いられる英語の概要 2. 英単語 病院内施設、医療スタッフと〇〇病患者、各種書類 身体の部位を表す連結形、病的状態を表す接尾語 各種状態を表す接頭語、手術や測定・検査を表す接頭語、薬剤、病院内の各種物品、略語 3. 会話表現 受付での質問、年齢や習慣を尋ねる、既往歴を尋ねる 家族歴を尋ねる、症状を尋ねる、痛みを尋ねる 診療場面での依頼、禁止する、意向を尋ねる 励ます、検査を行うことを伝える、薬の用法を教える 患者からの質問</p>
<p>英語 II 1単位・15時間</p>	<p>1. 簡単な日常の英会話を学ぶ。 2. 外国人の考え方、風俗習慣の違いを理解する。</p>	<p>1. 日常の英会話 1) 自己紹介 2) 旅行に行つて 3) Wの質問、Howの質問 4) 短縮形 略語 単位 5) ナースに必要な日常英会話 2. ヒアリング</p>